

原発事故関係施設の早期の建設事業

「ふたば医療センター附属病院プロジェクト」が CM 選奨を受賞しました!



CM 選奨とは

日本コンストラクション・マネジメント協会が年に一度、コンストラクション・マネジメント (CM) の普及発展と健全な建設生産システムの再構築、および倫理観を持ったプロフェッショナル育成に資することを目的に、国内外における CM 事例を幅広く募り、優れた成果をあげた事例を表彰する制度です。

参考：日本コンストラクション・マネジメント協会



プロジェクトの概要

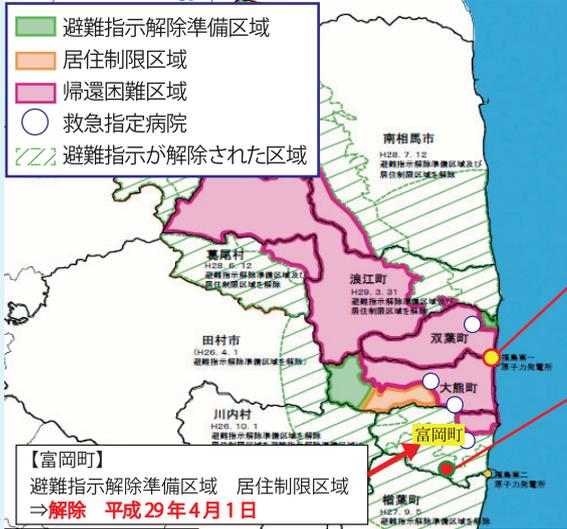
避難地区指定が解除される区域内に建設する二次救急医療施設の早期完成

平成 28 年、2 年後に原発事故による避難地区指定が解除されることが決定しました。そこで、帰還する住民のため、可及的速やかに二次救急医療施設を建設しなければなりませんでした。

本計画は、30 床・地域密着病院＋二次救急医療機関・ペリポート＋緊急被ばく医療という、他に例をみない病院をごく短期間で整備した特別なプロジェクトです。

プロジェクトの背景と目的

- 東日本大震災から6年を経て避難区域の一部の解除を決定
- ところが、地域の二次救急医療機関の病院が震災の影響と帰還困難区域にかかるため利用できない状態であることが判明した
- その時点で、実際の解除までわずか1年9か月しかなかった



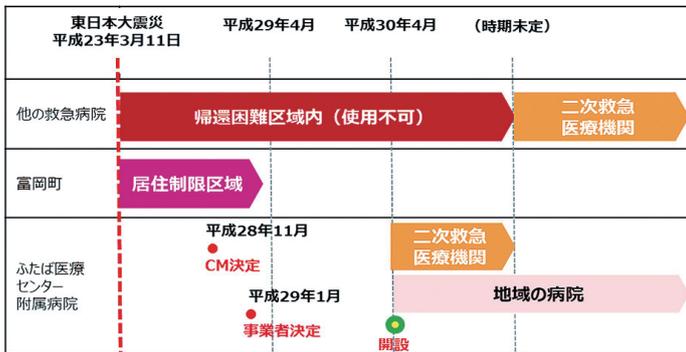
帰還する住民のため、また復興事業における労働災害事故への対応を目的に、緊急被ばく医療を行う病院を可及的速やかに建設する必要が生じました。

福島第一原発

ふたば医療センター附属病院
 CM業者決定
 事業者（設計・施工者）決定
 病院開設

平成28年9月
 平成29年1月
 平成30年4月1日

プラスPMのマネジメント概要



関係者の要望を十分に反映できた病院プログラム

限られた時間の中でも丁寧に病院スタッフや関係各位へヒアリングを行い、ステークホルダー全員の要求事項を満足し、「医療のプロ」と「建築のプロ」を結ぶ要求水準書を作り上げました。

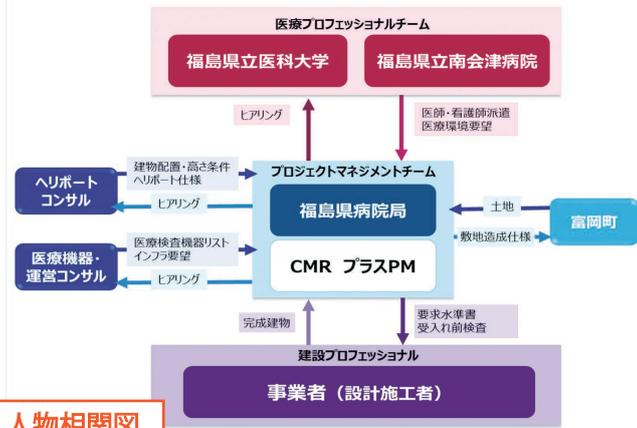
徹底したスケジュール管理

不調不落を防止し、施工買取方式*を実現することで、限られた時間の中で予定通りのスケジュール管理を実現しました。

建設コストを10%縮減

震災復興事業の命題であった建設コストの削減を、多数の企業が参画できる入札参加要件を整え競争環境を構築することで実現しました。

開設までの工程



人物相関図

*施工買取方式：建設会社が建設する施設を、完成後に国や自治体が買い取る方式です

開院4ヶ月後、以下のような新聞記事が掲載されました
 「開院から7月末までの受診者は計622人で、約6割が双葉郡内からの来院。避難指示の解除に伴って帰還した住民の健康を支えている様子がうかがえる。」
 震災復興事業の中で「病院」という重要な施設事業を担えた事は大変な誇りです。